

平成26年4月24日  
(資料提供)

(事務担当)  
所属名：農林総合研究センター  
農業試験場 総合研究部  
病害虫防除室  
直通：257-6972

## 平成26年度病害虫発生予報第1号について

今後発生が予想される、麦類、大豆、果樹、野菜の病害虫の発生量や防除上の注意事項を掲載する。

1 予報期間 5月上旬～5月下旬

2 予報内容

### (1) 麦類

オオムギ赤かび病の発生はやや少と予想される。出穂前後の降雨は発生を助長するので、出穂期の3～5日後とその7～10日後の2回防除を実施する。

オオムギうどんこ病の発生はやや多と予想される。急進展するようであれば防除を実施する。

### (2) 大豆

ネキリムシ類の発生はやや多と予想される。は種時の防除を徹底する。

### (3) 果樹

ぶどう灰色かび病の発生は並と予想される。早期発見に努め、発生を認めた場合は防除を実施する。

かき炭疽病の発生はやや多と予想される。孢子飛散は4月下旬からと予想される。発病が新梢に認められた場合は直ちに防除する。

### (4) 野菜

野菜類灰色かび病の発生は並と予想される。発生初期の防除を徹底し、施設内の換気および適正温度の管理に努める。

ネキリムシ類の発生はやや多と予想される。は種時又は定植時の防除を徹底する。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。